
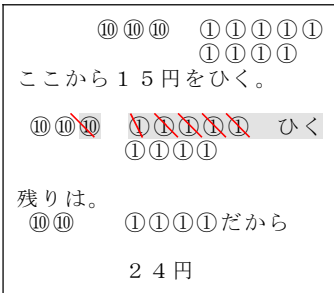
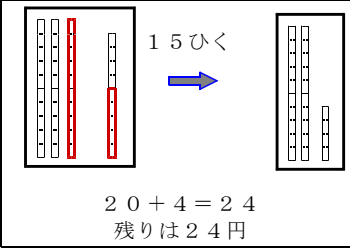
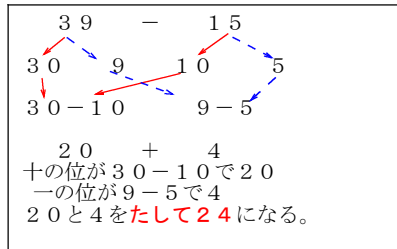


2年	整数のひき算	2位数－2位数（繰り下がりなし）
【ねらい】 2位数の減法計算の仕方について、具体的な買い物場面で考えることを通して、位ごとに分けて計算することに気付き、減法の筆算の仕方を理解する。		

課題 けんたさんのさいふの中には、39円入っています。15円のガムを買いました。のこりはいくらですか。	今まで学習したひき算とどこが違うのかな。 計算の仕方を考えましょう。	
---	---------------------------------------	---

既習事項 ① プラスチックのお金を使って考えたり、お金の絵をかいたりすればできそう。（模擬貨幣、絵で表す） ② ブロックを使って考えればできそうだよ。（ブロックを使用） ③ 前にもやったように、数を、十の位と一の位に分ければできるかもしれない。（被減数、減数の分解）

自力解決	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>① 実際にひいてみたよ。</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>② ブロックで計算してみた。</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>③ 十の位と一の位に分けて計算すると…</p>  </div>	指導上の留意点 <ul style="list-style-type: none"> ● 十のまとまりで考えたことなどを想起させ、位ごとに考えられそうかどうかという見通しをもたせる。 ● 悩んでいる児童には、ブロックなどの半具体物操作を通して、位毎に計算していることに気付かせる。予備のブロックや10のまとまりのブロック図を事前に準備しておく。 ● 図や式、言葉などを使って、自分の考えをノートに書かせる。始めに一の位から計算することを確認する。
-------------	---	---

集団思考	<p>1 自分の考えをペアで発表し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>お金の絵をかいてひいてみました。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>私は、十の位と一の位に分けて簡単に計算できたわ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>解き方は違っていても似ているところがありそうですね。</p> </div> <p>2 代表的な考え方についてそれぞれのよさや共通点を話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>お金の絵をかいて考えると正確にできる。ブロックも間違わないでひけるよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なるほど、「十の位と一の位に分けて計算する」と説明すれば分かりやすい。そこが似ているところね。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● どんな方法を使って考えているかという点を確認した後、考え方の似ているところに気付かせる。 ● 類型化した考えは教師が意図的に指名する。
-------------	--	--

3 筆算の計算の仕方をまとめる。

似ているところから、計算の仕方がまとめられそうだね。



十の位と一の位で分けて計算することです。



- 位ごとに分けて計算するという共通点から筆算の計算の仕方をまとめていく。

ま
と
め

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)

- 位をそろえて縦に書く。
一の位から順番にひき算をする。